

アソカ講話045

テーマ「ご家族の言葉に感謝」

先週、亡くなられたご利用者のご家族さんがアソカ園にご挨拶にみえられた。そのご家族さんの一言に救われた思いがした。その一言とは「アソカ園を利用させて頂いて良かった。お世話になりました。お母さんも喜んでいてと思います。」という言葉である。

介護施設の限界もあるが、私達は十分というケアがまだまだできずいる。その中で亡くなられるご利用者さんのことを思うと、心の片隅に何か残るものがある。特に、心残りなケースは、亡くなられたと聴くと心の痛みを感じるが、ご家族の感謝の言葉に出会うと本当に救われる思いがする。そして、その優しさに心がうたれ、心が温かくなる。ご家族の心配りと言葉に心から感謝したい。

私達は、ご利用者のご家族からも大きな愛情を頂いている、そう思えた貴重な時間であった。死は誰の上にも等しく訪れる。そして、いつ訪れるか等しく誰にも分からない。死は様々な形で訪れる。突然のこともある。どんなに素晴らしいケアをしても後悔がゼロになることはないだろう。私達ができることは、少しでも後悔することを少なくすることだと思う。ご利用者に学べたことを感謝して次に活かす。それが温かいご家族の言葉に報いる道だと思う。